



2024年4月24日

各位

会社名 サイバートラスト株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 北村 裕司
(コード番号: 4498 東証グロース)
問合せ先 取締役 常務執行役員 CFO 清水 哲也
(TEL 03-6234-3800)

減損損失の計上及び通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2024年3月期の決算において、下記のとおり、減損損失を計上いたしました。また、2024年1月30日に公表いたしました2024年3月期通期連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

IoTサービスにおいては、IoT機器向けLinux OSの提供から、認証、ライフサイクル管理までを提供する自社開発ソフトウェアEMLinuxならびにセキュアIoTプラットフォーム(SIOTP)の製品・サービスへ将来の事業拡大に向けて投資を行っておりましたが、昨年度まで経済安全保障に関わる国際安全基準や法規制への市場環境に対する企業側の取り組みが長期化した影響もあり2024年3月期は前期比減収となりました。

今後の事業計画を保守的かつ慎重に見直し、当社が保有するIoTサービスの固定資産に減損の兆候が認められることから「固定資産の減損損失に係る会計基準」に基づき固定資産に係る回収可能性を検討した結果、想定期間内での回収が困難となったことから2024年3月期第4四半期において減損損失345百万円を計上いたしました。なお、IoTサービスの取組みに影響するものではなく、引き続き事業成長に向けて取り組んでまいります。

2. 2024年3月期通期連結業績予想と実績値の差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,500	百万円 1,100	百万円 1,100	百万円 740	円 銭 91.72
実績値(B)	6,466	1,112	1,121	518	64.26
差異(B-A)	△33	12	21	△221	
増減率(%)	△0.5	1.1	1.9	△29.9	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	6,167	1,053	1,065	725	90.40

3. 差異の理由

売上高につきましてはLinux/OSSサービスCentOS7延長サポート及びIoTサービスにおける早期需要の獲得、パートナー企業との協業により事業の展開と具体的販売施策を鋭意推進してまいりましたが、前回の予想数値

を若干下回る結果となりました。一方、売上原価の低減による粗利率の改善、販売費及び一般管理費削減の努力を継続したことにより、営業利益及び経常利益は前回の予想数値を上回る結果となりましたが、減損損失を計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回の予想数値を下回りました。

以上